

2018年度高校入試総括と展望

1 埼玉県公立高校入試事情

●公立高校入試改革●

埼玉県公立高校入試では、「高校再編」と「入試制度改革」が着実に進行してきました。これまでの入試改革の流れを振り返ってみましょう。

2003年度入試	調査書絶対評価化
2004年度入試	通学区制度廃止 調査書評定3学年分併記
2005年度入試	前期・後期制導入 地域推薦廃止→地域選抜へ 「求める生徒像」公開 「自己PR書」導入 「総合問題」(前期募集)導入 学力:内申の上限を7:3に変更
2010年度入試	「求める生徒像」「自己PR諸」 「総合問題」「小論文」廃止 前期・後期制募集内容変更 ●前期5科入試(定員約80%) ●後期3科入試(定員約20%)
2012年度入試	前期・後期制廃止=1回入試
2017年度入試	学力検査問題に関する変更 ●理・社の検査時間を50分へ ●英・数に学校選択問題導入
2019年度入試	追検査実施(急病等の欠席者対象)

2012年度入試から前期・後期制が廃止され、入試回数が1回となりました。2010年度入試における「受験者全員学力検査」という制度変更は「公立1回入試」への準備とも言える措置であり、公立高校入試が「学力重視」に向かってきたことは言うまでもありません。しかし、一方で、「相関表方式」から「加点方式」へという選抜方法の変更は、受験生に「学力と内申のバランス」を求める結果となり、調査書の重要性が増したことも事実です。公立高校の合格を勝ち取るためには、「公立高校入試は中学校1年生から始まる」という認識をしっかりとって準備していかなければならないと言えるでしょう。

《2019年度埼玉県公立高校入試日程》

【出願期間】	2019年2月18日(月)、19日(火)
【志願先変更】	2019年2月21日(木)、22日(金)
【学力検査】	2019年2月28日(木)
【実技・面接】	2019年3月 1日(金) *一部の学校
【追検査】	2019年3月 5日(火)
【合格発表】	2019年3月 8日(金)

●2018年度埼玉県公立入試を振り返る●

1回入試となって7年目、全日制全体の最終実質競争率は1.18倍となりました。競争率の高騰が問題視されていた2009年度入試からの推移を見てみると、

□2009年度前期…平均競争率2.88倍、普通科3.78倍
後期…平均競争率1.32倍、普通科1.34倍

□2010年度前期…平均競争率1.49倍、普通科1.65倍
後期…平均競争率1.78倍、普通科1.79倍

□2011年度前期…平均競争率1.44倍、普通科1.53倍
後期…平均競争率1.57倍、普通科1.57倍

□2012年度一般…平均競争率1.15倍、普通科1.15倍

□2013年度一般…平均競争率1.17倍、普通科1.19倍

□2014年度一般…平均競争率1.18倍、普通科1.20倍

□2015年度一般…平均競争率1.18倍、普通科1.20倍

□2016年度一般…平均競争率1.19倍、普通科1.22倍

□2017年度一般…平均競争率1.19倍、普通科1.21倍

□2018年度一般…平均競争率1.18倍、普通科1.21倍

となります。数値的には大幅に緩和され、1.2倍前後で落ち着いていると言えるでしょう。また、2012年度入試以降、5,906名→6,919名→7,082名→7,003名→7,559名→7,328名と、ここ数年7,000名を超えていた不合格者も、6,748名(2018年度実績)と減少しました。2012年度入試で27校361名と急増した欠員補充数は、その後23校240名→26校451名→29校404名→26校380名→26校506名となり、2018年度入試では41校990名と、驚くべき欠員数を記録しています。なお、欠員補充の受験状況は、

□2012年度入試…競争率1.52倍(最終欠員 55名)

□2013年度入試…競争率1.63倍(最終欠員 64名)

□2014年度入試…競争率1.40倍(最終欠員150名)

□2015年度入試…競争率1.30倍(最終欠員123名)

□2016年度入試…競争率1.37倍(最終欠員171名)

□2017年度入試…競争率1.30倍(最終欠員213名)

□2018年度入試…競争率1.04倍(最終欠員598名)

と推移しています。欠員募集の受験まで進路決定を先延ばしにする精神的負担を避けたいという思いを看取できますが、一方で、人気校・不人気校の格差が広がってきているとも言えるのではないのでしょうか。

2018年度入試の学科別競争率を見てみると、理数科1.77倍(前年度1.87倍)、外国語科1.46倍(前年度1.46倍)、書道科1.29倍(前年度1.05倍)、国際文化科1.25倍(前年度1.37倍)、看護科1.23倍(前年度1.05倍)、普通科1.21倍(前年度1.21倍)の順に高く、3年連続で理数科・外国語科が上位2位を占める結果となりました。なお、2018年度から川口市立高校にも理数科が新設されています。

●埼玉県公立高校入試のしくみ●

埼玉県公立高校入試では、受験生の持ち点「調査書点」と、入試当日の試験結果「学力検査点」の合計で合否を決める加算方式が採用されています。学校によっては、これに面接や実技検査の得点も加わります。ここでは基本的な内容をおさらいしておきましょう。

[学習の記録の得点]

調査書点の基幹となるものです。いわゆる通知票の評定ですが、調査書には1年・2年・3年の3学年分が併記され、各学年の評定をどう扱うかは学校ごとに定められます。例えば、評定比率が「1:1:3」である学校の場合、 $45 \times 1 + 45 \times 1 + 45 \times 3 = 225$ 点となります。ただし、選抜には、第1次～第3次の段階が設定されており、第1次選抜と第2次選抜では、この225点にそれぞれ異なる係数を乗じて調査書点を算定しますので、225点そのまま満点というわけではありません。

[特別活動の記録の得点]

生徒会活動や部活動などの実績や取り組み内容を得点化するものです。これも学校により基準が異なりますが、概ね以下のものが評価の対象になります。

- 生徒会長、生徒会副会長、生徒会本部役員
- 委員会委員長、行事实行委員長、学級委員
- 全国大会、関東大会、県大会出場
- 県選抜選手、地区選抜選手
- 部長、副部長、3年間部活動継続

[その他の項目の得点]

学校生活や課外活動、資格取得等を得点化するものです。配点は決して大きくありませんが、以下のものが調査書点の一要素になりますので注意してください。

- 選択教科の学習の記録
- 総合的な学習の時間の記録
- 英検・漢検・数検等各種検定、TOEFL・TOEIC
- 出欠の記録
- 地域のクラブ活動、ボランティア活動
- 数学オリンピック、英語スピーチコンテスト
- 海外派遣、表彰経歴

[その他の資料]

2009年度まで全校で実施されていた面接試験は各学校の選択実施となりました。実技試験も同様に選択制です。実施する場合はやはり点数化され合計の際に加算されます。中には高得点を配している学校もありますので注意しましょう。面接試験＝人物評価ですので、しっかり対策をして臨まなければなりません。

* 2018年度入試の面接高配点校(1次選抜)

- 〈400点〉 戸田翔陽
- 〈200点〉 栗橋北彩
- 〈120点〉 白岡
- 〈100点〉 岩槻北稜 松伏 三郷 宮代 八潮 鷺宮
岩槻商業 浦和工業 大宮工業 川口工業
杉戸農業 三郷工業技術 幸手桜

[通学距離および通学時間]

「地域に根ざした学校づくり」の趣旨をいかせるよう、学校によっては、第3次選抜において「通学距離および通学時間」を選抜の資料として扱います。

第3次選抜を設定している学校のほとんどは、選抜資料として通学距離や特別活動の記録、面接結果を採用しています。この選抜段階で合格するのはごく少数ですが、学力検査点と調査書点の単純合計で選定する第2次選抜までとは大きく異なりますので注意しましょう。

[学力検査]

学力検査は、2010年度入試から各教科100点満点になりました。「思考力、判断力、表現力などを、十分に把握できるよう配点に差を設け、学力検査の結果に反映させる」という方針のもと、問題は基礎から応用まで幅広く出題され、記述問題を中心に構成されています。入試問題は全体的に難しくなりましたが、部分点も設定されますので、少しでも解答する努力が必要です。とは言え、問題が難しくなれば得点の差はつきにくくなります。調査書点が低い受験生にとっては不利な入試と言わざるを得ません。

さて、学力検査に関しては、2017年度入試より以下2点の変更がありました。

変更点① 理・社の学力検査時間を40分から50分へ

変更点② 数・英の学力検査に「学校選択問題」導入

これにより、埼玉県公立高校入試は5科各50分という設定になりました。平均点は以下のとおりです。

* ここ6年間の学力検査平均点

	国	数	(選)	英	(選)	社	理
2013年度	65.6	42.4	-	53.7	-	50.3	63.4
2014年度	64.0	45.0	-	45.0	-	49.5	46.1
2015年度	56.0	48.1	-	55.6	-	49.1	50.3
2016年度	57.9	51.1	-	57.4	-	63.7	39.2
2017年度	53.3	44.4	43.2	52.0	71.9	60.6	48.5
2018年度	52.8	44.0	43.7	55.9	58.9	55.9	51.7

理科・社会の「考える時間の確保」という効果はあるようですね。「学校選択問題」のほうは、初年度の難易度設定に課題が残りましたが、2年目はうまく軌道修正できたのではないのでしょうか。ただ、もう少し英語が難しくてもいいかもしれません。また、共通問題と選択問題の受検者数比はおおよそ4:1です。したがって、中学校教育は当然のことながら共通問題への対応が主体となります。「学校選択問題」を採用する学校を受検する場合は、学習塾等でしっかりと対策をしてください。

* 2018年度入試の学校選択問題採用校

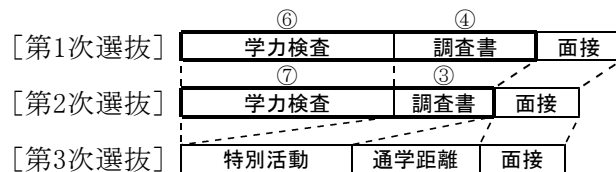
浦和 浦和第一女子 浦和西 大宮 春日部 川口北
川越 川越女子 川越南 熊谷 熊谷女子 熊谷西
越ヶ谷 越谷北 所沢 所沢北 不動岡 和光国際
蕨 市立浦和 (以上20校)

なお、2019年度入試から、急病等で欠席した志願者に配慮した「追検査」が新設されることになっています。

埼玉県公立高校入試では、以上の得点要素を総合的に判断して合否が決定されます。選抜には第1次選抜から第3次選抜まで段階が設定されますが、その際、「学力検査点」と「調査書点」の配点比が、第1次選抜では4:6～6:4の範囲の値に、第2次選抜では3:7～7:3の範囲の値になるように決められていますので、各選抜段階において、いずれかを重視することが可能です。公表される各学校選抜基準の「選抜の基本方針」欄にはどちらを重視するか明記されますが、2018年度入試においては、多くの学校で第1次選抜6:4、第2次選抜7:3を

選択していましたが、学力重視傾向にあると言ってよいのではないのでしょうか。

選抜方法は下記イメージ図のようになりますが、各段階で得点の高い順に合格者を選定していきます。



【資料①】選抜基準様式

全日制 県立〇〇高等学校(普通科) 平成31年度入学者選抜

基本方針	(1) 学力検査と調査書の記録については、学力検査を重視して選抜する。 (2) 調査書の「特別活動の記録」、特に部活動・生徒会活動に積極的に取り組んだ者の選抜に配慮する。 (3) 面接を実施し、受検生の意欲・態度・適性を積極的に評価する。										
選抜資料	傾斜配点を実施する場合は、この部分に該当教科を記載しています。										
	○学力検査の扱い ○調査書の扱い ○その他の資料	1年:2年:3年 各学校で定めます 学習の記録の得点(1:1:2) 特別活動等の記録の得点 その他の項目の得点 面接 [500点] (180点) (50点) (10点) [30点]								
一般募集	●第1次選抜(60%を入学許可候補者とする) (各資料の配点) 調査書の合計点に、各学校が定めた係数を乗じて②と⑥の換算点を算出します。										
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>①学力検査</td> <td>②調査書</td> <td>③面接</td> <td>④合計</td> </tr> <tr> <td>500点</td> <td>336点</td> <td>30点</td> <td>866点</td> </tr> </table>			①学力検査	②調査書	③面接	④合計	500点	336点	30点	866点
	①学力検査	②調査書	③面接	④合計							
500点	336点	30点	866点								
●第2次選抜(30%を入学許可候補者とする) (各資料の配点) 面接等を実施しない場合は「その他」欄に「実施しない」と記載。											
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>⑤学力検査</td> <td>⑥調査書</td> <td>⑦面接</td> <td>⑧合計</td> </tr> <tr> <td>500点</td> <td>216点</td> <td>30点</td> <td>746点</td> </tr> </table>			⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合計	500点	216点	30点	746点	
⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合計								
500点	216点	30点	746点								
●第3次選抜(10%を入学許可候補者とする) この記述がない場合のみ、残った全受験生が対象となります。 第〇次選抜における合計得点の一定の順位の対象に、特別活動の記録の得点で選抜する。											
調査書の扱いの詳細	【特別活動等の記録の得点(50点)】 ○学級活動・生徒会活動 ※例えば、以下の区分により得点を加算する。 区分A 生徒会長、生徒会副会長、生徒会本部役員 区分B 委員会委員長、委員会副委員長、学校行事実行委員長 区分C 学級委員 区分D 学級係等その他評価できるもの ○部活動 ※例えば、以下の区分により得点を加算する。 区分A 全国大会出場 区分B 関東大会出場、県大会上位入賞、県選抜選手 区分C 県大会出場、地区選抜選手、格技有段者 区分D 郡市大会入賞、部長、副部長、3年間部活動継続 【その他の項目の得点(10点)】 ○選択教科の学習の記録 ※特に顕著な活動がある場合に得点を与える。 ○総合的な学習の時間の記録 ※特に顕著な活動がある場合に得点を与える。 ○資格取得等 ※以下の資格を取得している場合に得点を与える。 英語検定・漢字検定・数学検定、TOEFL、TOEIC、珠算、硬筆・毛筆、囲碁・将棋、ワープロ検定など ○出欠の記録 ※出席状況が特に良好な場合に得点を与える。 ○地域のクラブ活動、ボランティア活動、数学オリンピック、英語スピーチコンテスト、海外派遣、表彰経歴										
その他	第3次選抜において、通学距離及び通学時間を資料とする。 地域選抜を実施しないかわりに、地域に根ざした学校づくりの趣旨をいかに通学時間・距離を資料とすることができ ます。また、外国人特別選抜などに関する記述もここに記載されます。										

普通科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
浦和	1	1	2	180	70	70	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
大宮	1	1	2	180	90	90	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
浦和第一女子	1	1	2	180	120	35	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
市立浦和	1	1	3	225	95	95	1次選抜	60%	500	336	-	836	60:40
							2次選抜	40%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	0%					
春日部	1	2	4	315	100	85	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	39%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	1%	1次上位者を「特別活動の記録」選抜				
蕨	1	1	3	225	100	10	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	37%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
越谷北	1	1	2	180	70	20	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	0%					
不動岡	1	2	3	270	100	30	1次選抜	60%	500	336	-	836	60:40
							2次選抜	39%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	1%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
浦和西	1	1	2	180	50	10	1次選抜	60%	500	336	-	836	60:40
							2次選抜	38%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	2%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
川口北	1	1	2	180	50	50	1次選抜	70%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	27%	500	240	-	740	68:32
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動の記録」「その他項目」選抜				
越ヶ谷	1	1	3	225	80	↑20	1次選抜	60%	500	335	-	835	59:41
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
市立浦和南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜+通学距離				
春日部東	1	1	3	225	94	16	1次選抜	80%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	15%	500	503	-	1003	50:50
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」選抜+通学距離				
越谷南	1	1	2	180	70	15	1次選抜	80%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	15%	500	334	-	834	60:40
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別活動の記録」「その他項目」選抜				
川口市立(新)	1	1	2	180	60	30	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
春日部女子	1	2	3	270	40	10	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	20%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	0%					
草加	1	1	3	225	60	20	1次選抜	80%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	20%	500	500	-	1000	50:50
							3次選抜	0%					
杉戸	1	1	2	180	50	20	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」選抜+通学距離				

普通科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
川口	1	1	2	180	60	20	1次選抜	80%	500	350	30	880	59:41
							2次選抜	19%	500	600	30	1130	45:55
							3次選抜	1%	2次上位者を「特別活動」「その他」「面接」選抜				
越谷西	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	750	-	1250	40:60
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別活動の記録」選抜+通学距離				
草加南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
久喜	1	1	2	180	40	30	1次選抜	70%	500	450	-	950	53:47
							2次選抜	30%	500	350	-	850	59:41
							3次選抜	0%					
岩槻	1	1	2	180	40	20	1次選抜	70%	500	480	-	980	51:49
							2次選抜	30%	500	720	-	1220	41:59
							3次選抜	0%					
浦和東	1	1	3	225	125	100	1次選抜	80%	500	450	25	975	63:47
							2次選抜	19%	500	540	50	1090	48:52
							3次選抜	1%	1次上位者を「特別活動」「その他」「面接」選抜				
草加東	1	1	3	225	80	45	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	20%	500	500	-	1000	50:50
							3次選抜	0%					
越谷東	1	1	2	180	90	30	1次選抜	80%	500	360	-	860	58:42
							2次選抜	20%	500	600	-	1100	45:55
							3次選抜	0%					
三郷北	1	2	3	270	120	60	1次選抜	80%	500	450	50	1000	53:47
							2次選抜	17%	500	900	100	1500	36:64
							3次選抜	3%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
庄和	1	1	3	225	165	30	1次選抜	60%	500	504	50	1054	50:50
							2次選抜	30%	500	720	50	1270	41:59
							3次選抜	10%	2次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
川口東	1	1	3	225	40	20	1次選抜	80%	500	500	20	1020	50:50
							2次選抜	20%	500	345	20	865	59:41
							3次選抜	0%					
草加西	1	1	3	225	75	35	1次選抜	80%	500	450	50	1000	53:47
							2次選抜	17%	500	750	50	1300	40:60
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動」「その他」「面接」選抜				
松伏	1	2	3	270	100	30	1次選抜	80%	500	720	100	1320	41:59
							2次選抜	15%	500	400	200	1100	56:44
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
八潮南	1	1	2	180	70	30	1次選抜	70%	500	364	50	914	58:42
							2次選抜	30%	500	392	70	962	56:44
							3次選抜	0%					
八潮	1	1	2	180	75	15	1次選抜	80%	500	540	100	1140	48:52
							2次選抜	12%	500	540	200	1240	48:52
							3次選抜	8%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
三郷	1	1	3	225	80	50	1次選抜	60%	500	355	100	955	58:42
							2次選抜	40%	500	568	150	1218	47:53
							3次選抜	0%					
宮代	1	1	2	180	80	40	1次選抜	65%	500	495	100	1095	50:50
							2次選抜	25%	500	750	100	1350	40:60
							3次選抜	10%	2次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
岩槻北陵	1	1	2	180	100	40	1次選抜	60%	500	480	100	1080	51:49
							2次選抜	24%	500	720	200	1420	40:60
							3次選抜	16%	2次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				

理数科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
大宮	1	1	2	180	90	90	1次選抜	60%	700	467	-	1167	60:40
							2次選抜	40%	700	300	-	1000	70:30
							3次選抜	0%					
越谷北	1	1	2	180	70	20	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	0%					
川口市立(新)	1	1	2	180	60	30	1次選抜	60%	700	468	-	1168	60:40
							2次選抜	40%	700	302	-	1002	70:30
							3次選抜	0%					

外国語科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
蕨	1	1	3	225	100	30	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
春日部女子	1	2	3	270	40	10	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	20%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	0%					
越谷南	1	1	2	180	60	30	1次選抜	80%	600	400	-	1000	60:40
							2次選抜	20%	600	400	-	1000	60:40
							3次選抜	0%					
南稜	1	1	3	225	75	20	1次選抜	80%	600	400	-	1000	60:40
							2次選抜	20%	600	400	-	1000	60:40
							3次選抜	0%					
草加南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				

人文学科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
春日部東	1	1	3	225	58	48	1次選抜	80%	800	535	-	1335	60:40
							2次選抜	20%	800	343	-	1143	70:30
							3次選抜	0%					

総合学科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
誠和福祉	1	1	2	180	90	30	1次選抜	80%	500	360	40	900	58:42
							2次選抜	20%	500	450	50	1000	53:47
							3次選抜	0%					
幸手桜	1	1	2	180	40	30	1次選抜	60%	500	500	100	1100	50:50
							2次選抜	30%	500	500	150	1150	50:50
							3次選抜	10%	2次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
吉川美南	1	2	3	270	70	60	1次選抜	↓70%	500	400	50	950	56:44
							2次選抜	↑25%	500	600	100	1200	45:55
							3次選抜	↑5%	※3次復活=1次上位者を「特」「他」+通学距離				
戸田翔陽	1	1	2	180	40	30	1次選抜	70%	500	500	400	1400	50:50
							2次選抜	30%	500	500	400	1400	50:50
							3次選抜	0%					

文理スポーツ	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
川口市立(新)	1	1	2	180	120	60	1次選抜	60%	500	360	50	910	58:42
							2次選抜	35%	500	500	100	1100	50:50
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				

総合技術	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
越谷総合技術	1	1	2	180	↑50	20	1次選抜	80%	500	500	50	1050	50:50
							2次選抜	20%	500	600	100	1200	45:55
							3次選抜	0%					

看護科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
常盤	1	1	2	180	30	15	1次選抜	80%	500	334	20	854	60:40
							2次選抜	20%	500	215	20	735	70:30
							3次選抜	0%					

商業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
浦和商业	1	1	2	180	40	30	1次選抜	80%	500	500	-	1000	50:50
							2次選抜	20%	500	750	-	1250	40:60
							3次選抜	0%					
岩槻商業	1	1	2	180	50	20	1次選抜	80%	500	500	100	1100	50:50
							2次選抜	15%	500	250	100	850	67:33
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
八潮南	1	1	2	180	70	30	1次選抜	70%	500	364	50	914	58:42
							2次選抜	30%	500	392	70	962	56:44
							3次選抜	0%					

工業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
春日部工業	1	1	3	225	110	40	1次選抜	80%	500	450	50	1000	53:47
							2次選抜	20%	500	600	50	1150	45:55
							3次選抜	0%					
久喜工業	1	1	2	180	100	20	1次選抜	80%	500	600	60	1160	45:55
							2次選抜	20%	500	750	60	1310	40:60
							3次選抜	0%					
三郷工業技術	1	1	3	225	100	30	1次選抜	80%	500	497	100	1097	50:50
							2次選抜	20%	500	497	100	1097	50:50
							3次選抜	0%					
浦和工業	1	1	1	135	45	20	1次選抜	80%	500	400	100	1000	56:44
							2次選抜	20%	500	400	100	1000	56:44
							3次選抜	0%					
川口工業	1	1	1	135	100	30	1次選抜	80%	500	371	100	971	57:43
							2次選抜	20%	500	265	120	885	65:35
							3次選抜	0%					

農業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
杉戸農業	1	2	2	225	130	45	1次選抜	75%	500	500	100	1100	50:50
							2次選抜	25%	500	500	100	1100	50:50
							3次選抜	0%					

音楽科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	実技	満点	
大宮光陵	1	1	3	225	15	10	1次選抜	80%	500	500	1000	2000	50:50
							2次選抜	20%	500	500	1000	2000	50:50
							3次選抜	0%					
松伏	1	2	3	270	100	30	1次選抜	75%	500	500	630	1630	50:50
							2次選抜	20%	500	500	765	1765	50:50
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」「実技」選抜				

【資料③】2018年度高倍率校

《普通科系》				《職業・芸術科系》			
01) 川口市立[理数]	2.28倍	17) 川越南	1.48倍	01) 上尾[商業]		1.39倍	
02) 川口市立[文理]	2.14倍	19) 南稜[外国語]	1.46倍	浦和商業[情報処理]		1.39倍	
03) 大宮[理数]	2.10倍	20) 蕨[外国語]	1.45倍	03) 大宮光陵[美術]		1.38倍	
04) 松山[理数]	2.00倍	大宮	1.45倍	04) 川越工業[デザイン]		1.34倍	
05) 春日部女子[外国語]	1.76倍	22) 越谷北[理数]	1.43倍	05) 鳩ヶ谷[情報処理]		1.32倍	
市立大宮北[理数]	1.76倍	23) 川口北	1.42倍	06) 大宮光陵[書道]		1.29倍	
07) 越ヶ谷	1.68倍	24) 草加南	1.41倍	07) 川越工業[建築]		1.27倍	
08) 市立浦和	1.67倍	25) 浦和	1.38倍	08) 常盤[看護]		1.23倍	
09) 所沢北[理数]	1.65倍	坂戸[外国語]	1.38倍	久喜工業[情報技術]		1.23倍	
10) 南稜	1.59倍	27) 川越女子	1.37倍	鳩ヶ谷[園芸デザイン]		1.23倍	
11) 川口市立	1.58倍	28) 伊奈学園	1.36倍	11) 熊谷工業[建築]		1.22倍	
12) 浦和西	1.57倍	29) 春日部	1.35倍	12) 越谷総合技術[食物調理]		1.21倍	
13) 不動岡[外国語]	1.55倍	草加南[外国語]	1.35倍	市立川越[国際経済]		1.21倍	
14) 和光国際[外国語]	1.54倍	31) 越谷北	1.34倍	14) 杉戸農業[園芸]		1.20倍	
所沢北	1.54倍	32) 与野	1.32倍	大宮光陵[音楽]		1.20倍	
16) 鳩ヶ谷	1.51倍	33) 不動岡	1.30倍	大宮東[体育]		1.20倍	
17) 所沢	1.48倍	和光国際	1.30倍	芸術総合[映像芸術]		1.20倍	

さて、上表から2018年度(平成29年度)入試を振り返ると、以下のことが言えます。

- ① 普通科系で1.5倍を超えた学校は、2017年度入試の18校から16校に微減となりました。
- ② 普通科系で1.3倍を超えた学校は、2017年度入試の48校から34校に大幅減となりました。
- ③ 普通科系では、理数科が高い人気となっています。
- ④ 職業・芸術系では、建築・デザイン系の学科が人気上昇傾向にあったと言えるでしょう。
- ⑤ 職業・芸術系では、近年人気傾向であった情報技術が停滞し、情報処理の人気が高まりました。
- ⑥ 職業・芸術系では、大宮光陵の芸術系学科の躍進が目につきました。
- ⑦ 新校である川口市立の人気が目立つ一方、高倍率常連校の蕨・浦和南・越谷南は落ち着いた入試でした。

2 私立高校入試事情

●首都圏私立高校入試概況●

首都圏の私立高校入試は、埼玉県公立高校入試の制度改革と密接に関連しながら推移しています。埼玉県私立高校の場合、埼玉県公立高校の前期・後期制への移行と同時に、従来の推薦入試(1月22日～)・一般入試(2月1日～)という入試区分が、前期入試(1月22日～)・後期入試(2月10日～)という区分に変更されました。しかし、当初から後期入試は形骸化し、現在では埼玉県私立中学高等学校協会の申し合わせでも、1月22日を「入学者選抜の開始日」として規定するにとどまっています。また、例年どおり、東京都私立高校の単願推薦および都外生対象併願推薦も1月22日に、千葉県私立高校の前期選抜は1月17日に開始となるでしょうから、私立入試は必然的に「1月入試」中心となります。

埼玉県公立高校入試が2012年度入試から3月初旬に1回だけの実施となり、公立中学校側からも入試遅延化の要請があったようですが、すでに埼玉県私立高校の入試は1月22日解禁と定められましたので、2019年度入試も大きな変更はなく実施されます。そもそも、入試遅延化の要請は、公立中学校における3学期授業時間の確保が目的ですので、公立高校入試だけ遅くても、

あまり効果はありません。現状では、私立高校入試＝1月下旬、公立高校入試＝3月初旬と、2月は埼玉県内のほとんどの受験生にとって入試のない期間となりますので、受験生にとっては、モチベーションをいかに維持するかが課題となるでしょう。もし、埼玉県私立高校と隣接都県私立高校が足並みを揃え、併願入試を例えば2月10日以降に設定することが可能であれば、公立中学校における3学期授業も現状よりは充実したものになります。難しい問題ではありますが、私立高校側が併願入試の遅延化に踏み切ってくれるのか、今後の動向を注視していきたいと思えます。

●2018年度埼玉県私立入試を振り返る●

埼玉県内私立高校2018年度入試における応募総数は約68,600名で、前年度とほぼ同数でした。岩佐教育研究所の資料によれば、単願受験者が2年連続で微増しているようで、受験者数に対する単願の割合は約15%、併願(1月入試)は約77%で、やはり1月入試が中心となっています。なお、2018年度の県内私立入学者数は約18,800名で、前年度と比べると微減となっています。県内私立高校通学に関して県が打ち出している「父母負担軽減事業」もあり、埼玉県の受験生にとっては、経済的な面での公私間格差は確実に小さくなってきていると言えるでしょう。

埼玉県内私学で受験者を大きく伸ばした学校としては、以下の学校が挙げられます。(晶文社調べ)

□浦和麗明	-----	1,201名	⇒	1,589名	(約132%)
□開智未来	-----	279名	⇒	364名	(約131%)
□西武学園文理	-----	904名	⇒	1,103名	(約122%)
□秀明英光	-----	2,542名	⇒	2,994名	(約118%)
□秋草学園	-----	875名	⇒	1,015名	(約116%)
□開智	-----	1,618名	⇒	1,851名	(約114%)
□本庄東	-----	1,360名	⇒	1,537名	(約113%)
□東京成徳大深谷	-----	1,255名	⇒	1,398名	(約111%)
□川越東	-----	1,625名	⇒	1,802名	(約111%)
□星野(女子部)	-----	937名	⇒	1,036名	(約111%)
□埼玉平成	-----	817名	⇒	895名	(約110%)
□春日部共栄	-----	1,714名	⇒	1,877名	(約110%)

浦和麗明は共学化によって、人気が高まりましたね。一方、大妻嵐山(288名⇒176名)、城西大川越(629名⇒475名)、武蔵越生(1,396名⇒1,117名)、淑徳与野(979名⇒803名)、正智深谷(1,726名⇒1,425名)、埼玉栄(1,986名⇒1,643名)、狭山ヶ丘(1,229名⇒1,059名)などは受験者を減らしました。叡明や昌平も受験者を減らしていますが、これは近年の人気高騰による調整といった側面があると思われます。数値の変動にはさまざまな要因があり、それが人気の動向を直接示すわけではありませんが、参考までに受験者数が2,000名を超えた学校を列挙してみると、浦和学院(3,624名)・浦和実業(3,537名)・叡明(3,054名)・秀明英光(2,994名)・山村学園(2,067名)・栄東(2,066名)となり、これらの学校が受験生の一般的な併願校として認識されていることは間違いのないでしょう。

また、東京私学では、少子化で生徒募集に苦戦する学校が多い中、以下の学校が受験者を大きく伸ばしました。

□二松學舎大附	-----	347名	⇒	816名	(約235%)
□東洋大京北	-----	279名	⇒	470名	(約169%)
□日大豊山女子	-----	229名	⇒	370名	(約131%)
□桜丘	-----	671名	⇒	1,036名	(約154%)
□武蔵野大附千代田	-----	107名	⇒	163名	(約152%)
□京華	-----	219名	⇒	321名	(約147%)
□日大第一	-----	313名	⇒	433名	(約138%)
□潤徳女子	-----	342名	⇒	462名	(約135%)
□関東第一	-----	1,684名	⇒	2,141名	(約127%)
□文京学院大	-----	199名	⇒	250名	(約126%)

このほか、本日の参加校である十文字、岩倉、日本体育大桜華、共栄学園、上野学園なども受験者を増やしています。なお、受験規模で言えば、関東第一、安田学園、桜丘、駒込、東京成徳大なども、受験者1,000名を超えていますので、人気校と言ってよいのではないのでしょうか。

千葉県私学で受験者が増加したのは、以下の学校です。

□日出学園	-----	290名	⇒	391名	(約135%)
□二松學舎大柏	-----	1,100名	⇒	1,335名	(約121%)
□和洋国府台女子	-----	244名	⇒	282名	(約116%)
□千葉商科大付	-----	850名	⇒	977名	(約115%)
□芝浦工業大柏	-----	1,778名	⇒	1,993名	(約112%)

なお、専修大学松戸は2,800名弱、芝浦工業大学柏、我孫子二階堂、日本体育大柏、市川、二松學舎大柏、流通経済大柏、中央学院、西武台千葉などは1,000名以上の受験者を集め、人気となっています。

校風や教育方針、進学実績に魅力があったり、公立高校に進学できなかった受験生の受け皿となったり、志願者が増える要因はさまざまですが、募集に苦戦する私学が多い中で、これらの「選ばれた」私立高校は注目に値すると思います。

●私立高校入試の基礎知識●

[推薦入試]

推薦には、その私立高校を第一志望とする「単願」と、滑り止めとして受験する「併願」とがあります。どちらも、一般入試に比べれば合格しやすく、前述のように、日程は1月後半に集中しています。開成、巣鴨、江戸川学園取手などは推薦入試を実施しませんが、慶應女子・慶應志木、早大学院・早稲田実業・早大本庄、中大附属・中大杉並・中央大学、明大明治、青山学院、立教新座など大学附属最難関校や、豊島岡女子学園、市川、城北など最難関校でも推薦(単願)を導入しています。一般的に推薦基準は各高校によって定められていますので、受験希望の場合には、学校説明会・個別相談参加が必須となります。ただし、推薦で受験するからといって、必ず合格するというわけではありません。埼玉県私立高校でも、単願では慶応義塾志木、立教新座、早稲田大学本庄などが比較的多くの不合格者を出しています。また、複数コースが設置されている学校については、当然ですが、上位コースほど厳しくなります。

[一般入試]

実力勝負という意味合いをもつ一般入試ですが、多くの私立高校は推薦入試で募集定員のほとんどを確保するため、単願・併願双方を実施する私立高校では、一般入試は形骸化していると言わざるを得ません。一般入試を活用するのは、①最難関校へのチャレンジ、②併願推薦を実施しない上位私立受験、③推薦で不合格あるいは希望コース以外へのスライド合格だったときの再受験、いずれかに該当する受験生です。なお、内申に「1」がある場合や欠席日数が多い場合にも、一般入試しか受験させてもらえないことがあります。

最難関私立を受験する場合、倍率を考慮すれば、志望校を数校選び受験することが望ましいでしょう。都内私立は日程が2月10日に集中しますが、11日や12日に試験を実施するところもあり、埼玉・千葉・茨城は都内私立と別日程で入試が行われます。入試日程を把握し、無理のない受験パターンを組み立てることが大切です。

【2018年度主要最難関私立入試日程】

- 1月15日 江戸川学園取手(普通科1.25倍)
- 1月17日 市川(2.06倍)
- 1月19日 渋谷教育学園幕張(2.33倍)
- 2月1日 立教新座(2.03倍)
- 2月7日 慶應志木(3.96倍)
- 2月9日 早大本庄(3.98倍)
- 2月10日 開成(3.01倍)・慶應女子(3.36倍)
早稲田実業(2.79倍)・巣鴨(1.40倍)
中大附属(2.69倍)
- 2月11日 早大学院(2.69倍)・青山学院(4.11倍)
豊島岡女子学園(2.08倍)
城北(1.42倍)・中央大学(3.18倍)
- 2月12日 明大明治(3.36倍)

●昨年度私立高校入試変更点●

【埼玉県】

- 浦和学院… I 類改編＝T特・S特・特進
- 浦和麗明…男女共学化, 調理パティシエ募集停止
- 淑徳与野…S類にマルチスタディコース新設
- 星野(共学)…総合教養コース募集停止

【東京都】

- 足立学園…学科改編＝探究・文理・総合
推薦試験を小論文に変更
- 千代田女学園…校名＝武蔵野大附千代田高等学院
- 中村…高校募集再開(国際科のみ)
- 日体桜華…校名＝日本体育大学桜華
- 日本橋女学館…校名＝開智日本橋学園
高校募集停止(帰国生のみ募集)
- 三田国際…高校募集停止(帰国生のみ継続)
- 和洋九段…高校募集再開(グローバルのみ)

【千葉県】

麗澤…コース＝叡智特選・叡智スーパー特進
私立高校の共学化や新校舎建設、コース改編の波は落ち着きを見せ始めています。これらは学力レベルの上昇を視野に入れたもので、開智・大宮開成・昌平・栄北・駒込・桜丘・淑徳巣鴨・東洋大京北など、これまでも成功してきた例は少なくありません。また、2019年度入試における成城の高校募集停止など、完全中高一貫化に踏み切る学校もあれば、逆に高校募集を一部再開する学校も散見されます。吉と出るか凶と出るか、一概には論じられませんが、私学も明確なビジョンのもと、時代に合わせて変わっていかねばならないということではないでしょうか。2019年4月、細田学園の中学校が新規開校となりますが、これも大きな変革の1つと言えます。

●私立高校授業料減免制度●

2010年4月から正式に「公立高校授業料無償化」がスタートし、公立高校においては、授業料を徴収しないことになりました。私立高校に通う場合でも、「就学支援金」として、公立高校の場合と同額の国費補助を受けることができます。こうした国の動きを受け、私立高校の授

業料負担も、世帯収入に応じて軽減あるいは実質無償化する自治体も出てきました。ただ、この私立高校授業料減免制度は、それぞれの都や県によって対象や助成額が異なりますので注意が必要です。

なお、ご存知のとおり、当該制度は2014年4月から変更され、いわゆる「所得制限」が設けられました。新制度では、「市町村民税所得割額」が304,200円(年収910万円程度)未満の世帯に対して、支給されます。

【就学支援金制度概要】

	公立進学者	私立進学者
年収250万円未満	¥118,800支給	¥297,000支給
年収350万円未満	¥118,800支給	¥237,600支給
年収590万円未満	¥118,800支給	¥178,200支給
年収910万円未満	¥118,800支給	¥118,800支給
年収910万円以上	支給対象外	支給対象外

*) 年収基準は目安であり、家族構成を考慮したものになります。

また、埼玉県では、埼玉県内の私立高校に通学する生徒(生徒・保護者とも県内居住が条件)の経済的負担を軽減するため、県の単独補助として、授業料軽減補助および入学金軽減補助を実施していますが、平成29年度から授業料に対する補助が増額され、授業料が実質無償化となる区分が変わることになりました。

【埼玉県の補助制度概要】

※太枠内が増額部分です。

	授業料補助	入学金支援	施設費支援
年収250万円未満	¥78,000	¥100,000	¥200,000
年収350万円未満	¥137,400	¥100,000	¥200,000
年収500万円未満	¥196,800	¥100,000	¥200,000
年収590万円未満	¥196,800	¥100,000	対象外
年収609万円未満	¥256,200	¥100,000	対象外
年収609万円以上	対象外	対象外	対象外

*) 年収基準は目安であり、家族構成を考慮したものになります。

当該制度により、公私間の学費格差は大幅に改善されたと言えますが、県外私立に進学した場合は対象外となるため、不公平感は否めません。加えて、千葉県私立に進学した場合は千葉県の補助制度を利用することができ、東京都私立に進学した場合は都の減免制度を利用できないという矛盾もあります。既に駒込高校が独自の授業料補助制度を打ち出していますが、これはもはや教育行政の問題であり、学校単位の努力で解消できるものではありません。都道府県の枠組みを超えて検討されていくことを望みます。

ちなみに、東洋女子高校も、世帯年収が1,000万円未満であれば、東京都外の生徒でも無償教育を受けられる助成金制度＝「無償化プラン1000」を新設するそうです。